



(パネリスト紹介)私を取り巻くダイバーシティ

著者名	成島 由美
雑誌名	東京女子医科大学女性医師・研究者支援センター女性医師支援シンポジウム抄録集
巻	平成25年度
ページ	10-10
発行年	2013-05-25
URL	http://doi.org/10.20780/00031945

パネリスト紹介

成島 由美

株式会社ベネッセコーポレーション

教育事業本部 副本部長

略歴

1992 年 3 月 東京女子大学 文理学部 史学科卒業
1992 年 4 月 株式会社福武書店（現：株式会社ベネッセコーポレーション）入社
2003 年 4 月 中・高教育カンパニー ヴァイスプレジデント兼中学講座事業部統括責任者
2005 年 11 月 執行役員に就任
中学教育カンパニープレジデント兼中学教育カンパニー本部統括責任者
2007 年 4 月 義務教育事業副本部長、
2008 年 1 月 対面事業本部長
2010 年 1 月 教育事業本部 小学生事業部 部長（小学講座統括責任者）
2013 年 4 月 教育事業本部 副本部長

私を取り巻くダイバーシティ

あくまでもビジネスの世界の話かもしれませんが、、

右肩上がりの成長時代はどの企業も同じ方向をむき、同じやり方で競争していました。人づくりにについても一緒です。高度成長時代の教育は一つの答えめがけて中間層を沢山作ってきた歴史があります。同じ方向、同じやり方で一生懸命やれば学歴も得られ、達成感ももてて報われた時代でした。しかし成熟社会を迎えた今、パイは減る一方です。

同質的な競争を続けても消耗し淘汰されていきます。これからの時代は人と違う志向、異なる方向、やり方で突破していく力が要ります。その決め手になるのが個々人の多様性であり、企業や医療の組織においても構成要員そのものの多様な多様な価値観に込められた個性あるユニークな商品、サービスは生まれません。

異年齢での構成、しがらみの少ない女性の活用、外国人やシニアの雇用、一度家庭に入った層の受け入れなど、様々な価値観や経験を受け入れ、サービスの層を厚くしていくことこそが現代の新たな突破口である気がします。